

授業科目 介護技術Ⅱ（1年次）

【担当教員名】 大槻美智子 宮下栄子	対象学年	1～2	対象学科	社会（介護）
	開講時期	1年後期～2年前期	必修・選択	介護福祉コース必修選択
	単位数	2	時間数	60（内30）

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

食から始まり排泄までの消化器系の働きを理解し、食事機能の低下や排泄機能の低下が起こった場合にも人間として尊厳ある食事を摂ることができるように援助できる技術と、排泄時のプライバシーと人間尊重にたった援助と配慮ができる技術の習得をする。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

- 1 食事介護に必要な食の機能を理解することができる
- 2 食機能低下時の援助の必要性を理解し、介助方法と口腔ケアができる
- 3 排泄の仕組みと生理機能を理解し、排泄障害への対応ができる
- 4 人間理解のための、人の心の働きと欲求について理解できる
- 5 人間関係の対処方法について理解できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	実習体験からの介護技法の見直し		
2	食事の介護、食べる意義と目的 食欲の仕組みと必要栄養素と水分		
3	食機能低下と障害要因、誤嚥とむせの原因 その対応		
4	口腔ケアと整容 嚥下と口腔の状態への影響因子と観察		講義及び演習
5	食事の介助と口腔の清潔（状態による食事介助と食後の口腔ケア）		演習
6	排泄の仕組みと生理的意味 便秘・下痢への対応 尿路感染		
7	排泄障害 失禁への対応 排泄の自立支援		
8	ポータブルトイレでの排泄介助 プライバシーの保護		演習
9	便器・尿器での排泄介助と清潔（皮膚の観察と洗浄）		演習
10	失禁時の排泄援助（オムツの交換 布オムツ 紙おむつ 体位別排泄援助方法）		演習
11	人間の欲求と人間理解（自己概念と自立への意欲、自己実現、生きがい）		
12	人間の心の働き（思考、記憶、感情、無気力、あきらめ、動機づけ、自己効力感）		
13	ストレスによる心と体の変化（ストレスの種類と影響）		
14	人間関係のストレスと対応		
15	試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	中央法規 介護福祉養成講座 「介護技術Ⅱ」			
参考書	参考図書の紹介を講義中にする			
その他の資料	適宜プリント資料を用意する			

【評価方法】 筆記試験または実技試験（学習開始後指示） 講義および演習への学習参加姿勢	【履修上の留意点】 実習開始前に実技試験を行う予定がある。前期または後期の学習内容からとなる。従って いつ提示されても自身の学習が効果的に発揮できるように学習に望むことを期待する。
---	--

社会福祉学科 専門